川西小だより

笑顔で『　明るく　楽しく　元気よく　』

令和６年　１月３１日
富田林市立川西小学校
TEL２４－３１０７
FAX２６－２３０６

★児童数配布

「ものの正しい使い方」

教頭　長谷　佳昭

正に「冬本番」といった寒さが続く今日この頃ですが、体調はいかがでしょうか。空気の乾燥に伴い、市内でもインフルエンザ等の感染症も流行しているようです。基本的な生活習慣と手洗い、うがいなどの対策が今も昔も有効ですね。

風邪対策のための手洗い、うがいといった今と昔で物事が変わらないものがあれば、ひと昔では考えられないようなものが、今では出回っています。

例えば、スマートフォン。携帯電話とパソコンの機能を組み合わせた手のひらサイズの端末が、日常生活の中で、多くの人々に使われるようになるとは少し昔と比べると考えもしなかったことです。

このように、大人たちからすれば、ひと昔まででは考えられないようなものが、今の子どもたちの中では「当たり前のもの」として存在しています。

使い方さえ間違わなければ便利なものですし、使い方も大人や正しい使い方を知る人に教わりルールを知ることで、子どもたちは正しい使い方を身につけていくのだと思っています。

子どもたちの周りで環境の変化が起こる中、最近、私自身懸念しているものが、**「ポケットシーシャ」**と呼ばれる「水たばこ（水蒸気を発生させて吸うたばこの一種）」の流行です。ポケットシーシャの見た目は、葉たばことは程遠くカラフルかつおしゃれで、中にはノンタール、ノンニコチンのものもあります。

そのため、害はないように思われがちですが、タールやニコチン以外にも化学物質が含まれており、肺や気管に少なからず影響を与えるようです。また、喫煙や薬物の入り口にもなりかねないと警察の方もおっしゃっていました。

先ほどお話させていただいたように、ポケットシーシャも「正しく使えば」、使う人の責任の上で問題はないと思いますが、「正しく使えない」場合はそうは言えないのではないかと考えます。

「正しく使えない」＝「未成年者が使う（吸う）」ことだと考えます。商品パッケージの裏には、「未成年者には販売できません」「子どもの手の届かないところに保管してください」とも書かれています。学校としても中・高学年を中心に、保健指導や学級指導を行っています。保護者のみなさま、地域のみなさまも「子どもたちを取り巻く環境」に気を配っていただけるとありがたいです。